



まほろばの丘から



令和5年3月15日 文責 校長 江口 尋信

通知表「のびる子」について

早いもので、6年生は17日（金）に、5年生までは24日（金）に、本年度の全ての教育課程を修了することになります。学級閉鎖等を除けば、1・6年生は196日、2～5年生は199日間の学習を行ったことになります。子どもたちの1日、1日の成長はなかなか見えませんが、1年間では大きな成長を遂げているのです。1枚の西洋紙を思い浮かべてください。1枚の厚みは微々たるものですが、それが200枚も重ねれば立派な厚みになります。子どもたちの成長も、そのようなものだと思います。日にちに於いて約200日、1日5（6）時間学習するわけですから、立派な厚みですね。各学級に、4月に撮影した子どもたちの写真と一人一人が「めあて」を書いた掲示物が貼ってあります。写真の子どもたちの表情は実にあどけないのですが、今の子どもたちの表情は少し大人に近づいているように見えます。

修了式の日には通知表「のびる子」が配られます。子どもたちが持ち帰る「のびる子」を見て、何が成長したか、どのように成長したか、どのようなよさを発揮したか、ぜひお子様といっしょに確認してください。「○」や「△」がいくつかという数量的な見方ではなく、何が得意で何が苦手なのかという質的な見方をしていただけたらと思います。また、「のびる子」の所見には、担任が日々子どもたちと接する中で見出したその子ならではのよさを記述しています。しっかりと読んでいただけたらと思います。子どもたち一人一人には、それぞれ「ちがいが」あります。違って当たり前なのです。ですから、人と比べるのではなく、1年前のお子様と比べて、伸び・成長を見てください。

「のびる子」が次年度への意欲につながってほしいと願っています。

感謝の気持ちを込めて

令和4年度も終わろうとしていますが、本年度も大きな事故や事件に巻き込まれる子どもがいなかったことが何よりです。これも、朝夕の見守りをしてくださった地域や保護者の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

先日、各地区の自治会長さんをお招きして、子どもたちからチューリップのプレゼントをしました。この活動は8年前から行ってきたもので、朝夕の見守りや地域の行事等でお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを伝える大切な行事です。



チューリップを贈呈する児童

チューリップを植えているプランターには、環境・美化委員会の子供たちが書いた手書きのメッセージが添えられています。地域の公民館に置かれていると思いますので、お近くを通る際には見ていただければと思います。

自分たちが支えられている、守られていることに気づき、感謝の気持ちをもつ子どもたちに育ってほしいと願っています。